

原発 **0** にむかって

2012年7月19日 No.26

<http://www.tokyominiren.gr.jp/>

編集・発行／東京民医連事務局 tel: 03-5978-2741 fax: 03-5978-2865 mail: sien@tokyominiren.gr.jp

「7.16さようなら原発10万人集会」東京民医連から2,000人を超える参加



【(cc) NODA Masaya / JVJA】

16日、大江健三郎さんが呼びかけた「さようなら原発 10万人集会」が猛暑となった代々木公園で開催され、「原発いらない」「再稼働反対」「福島を返せ」などの思いを胸に、17万人がサッカー場や野外音楽堂前の広場、公園内の道路などを埋め尽くしました。東京民医連からは目標を上回る2,000人以上の職員・共同組織のみなさんが参加しました。第1ステージでは呼びかけ人の9人が次々と登壇し、音楽家の坂本龍一さんは「電気のために美しい日本、国の未来である子どもの命を危険にさらすべきではない」と、作家の落合恵子さんは「野田政権が国民という時、いったい誰をみているのか」と訴えました。野外音楽堂などでは制服向上委員会などのライブやトークショーも行われました。集会の

終了を待たず、13時30分よりスタートした原宿、渋谷、新宿の3コースのパレードは人の波が長く続き、東京民医連などが参加した新宿コースでは最後尾がゴールの新宿西口に到着したのは夜7時過ぎとなり、脱原発の国民の意志が大きくなるとして示されました。



「3.11を忘れない」原発ゼロアクション

～福島応援訪問が力に 40人で署名244筆～

7月11日、JR八王子駅前で大飯原発の再稼働は許さない! 「原発はゼロへ」と署名やシール投票を行いました。大飯原発の再稼働への怒りや福島や被災地を顧みない民主党政権の悪政に腹を立てている思いがひしひしと伝わる行動で、原発ゼロ署名244筆が集まりました。共同も広がり若者も参加「飲料水を福島に贈る募金をお願いします」と初めてマイクを握り訴えていました。

(放射能から子どもを守ろう 原発ゼロへの会・八王子健康友の会 武藤幸子)

